

製品: Impika Printing System (IPS)
 アプリケーション: 印刷, 装飾, マイクロエレクトロニクス, 生医学
 プリントヘッド: Nova, Galaxy and S-Class
 使用インク: UV硬化, 導電層, 接着膜と特殊コーティング用液体
 システムのジェット数: 最大 3072
 プリントヘッドの特性: 様々な液体特性に対する信頼性と良好な性能



customer profile

「当社の事業は、様々な特性を持った液体を大量に噴射できる、高性能、信頼性に優れたプリントヘッドを必要としています。様々なプリントヘッドを評価した結果、当社はスペクトラの製品が我々の求めている要件に最適であるという結論に達しました。現在でもこの決定に後悔はありません。」

Paul Morgavi
 Chairman and CEO – Impika



本社 - マルセーユ, フランス



Nova, Galaxy and S-Class



Impika Printing System (IPS)

フランスのマルセーユに本社を置くインピカ社は、イノベーションとビジネス・リーダーシップに対してフランス産業開発省から称賛を得ています。

インピカの製品は、印刷、装飾、電子部品製造と生医学の各産業における広範なアプリケーションに及んでいます。新世代のフレキシブル印刷エンジンであるインピカ印刷システム (IPS) は、印刷と装飾市場に貢献しています。IPSは、伝統的なアナログ印刷機へのアドオンとして、あるいは新世代のモノクロームないしはカラー印刷装置に組み入れるコンポーネントとして開発されたモジュール式の印刷エンジンです。

このモジュール設計によって、IPSは、解像度、インク種、印刷幅やスループットなどの特殊な要件を満たす設定変更が容易にできます。印刷幅は、90~600DPIの解像度で6cm~36cmの範囲が可能です。またホワイティンクを含む最大9色までのカラーが使用できます。IPSは、CD、DVD、スマート・カード、パッケージ、ラベルやバーコード製品などの装飾印刷に使用されています。

インピカ社は最近マイクロエレクトロニクス産業のシステムとソリューション開発を手掛けるようになりました。インピカの「MATJET」 (material jetting) 技術は、DODインクジェットと特殊インク技術を取り入れて、RFID、フラット パネル デ스플레이やチップ接続などを低コストで生産することができる革新的なソリューションを提供しようとしています。わが社の長期的開発計画には、原位置テスト (in-situ test) とDNAアレイのような医療アプリケーションが含まれています。全てのシステムはインクジェット技術をベースにしています。製品開発の他に、インピカ社はコンサルタント業務をベースにして専門的知識の提供も行っています。

最近16年間を通じて、インピカ社は、多くのイメージ形成技術を開発してきましたが、その中でもインクジェットが重要な技術であると認識しています。当社がスペクトラのプリントヘッドを選択した理由は、導電層、接着膜や保護膜のコーティングに使用される液体を含む多くの種類の液体をサポートできる能力と優れた信頼性を備えていたからです。